

祥明大学校短期研修の報告

文学部 日本語日本文学科1年 清水咲彩

私は、夏休みの9月13日～20日の8日間、熊本県立大学の協定校である祥明大学校への短期研修団として、韓国に行きました。私は初めて行く海外でもあり緊張と不安でいっぱいでした。しかし、韓国と日本の文化の違いを実感し、韓国の伝統文化に触れる機会に恵まれ、非常に良い体験になったと感じています。



私は、8日間の短期研修期間で祥明大学校の日本語学科の方と、たくさん話す機会がありました。話しているときに、私が「どうして日本語学科に入ったの？」と質問すると、「日本の祭りや、デパートとか、アイドルが好きだから、日本語の勉強がしたい。」と話してくれました。私は、このとき韓国にも日本の文化や、アイドルに関心を持っている人がいて、日本のことが好きと話す人がいるということは、すごく興味深く、うれしいことだと感じました。その一方で、私は生まれてから19年間日本に住んでいるけれど、日本や生まれ育った熊本の良いところを話せるだろうかという疑問に思いました。日本人である私たち



だからこそ、日本の良いところや熊本の良いところを発信していかなければいけません。そのため、私は日本のいいところや、地元熊本のいいところを話せる人になりたいと感じました。

また、祥明大学校の日本語の授業に参加する機会がありました。その授業は、敬語を用いた文章を作るといった授業でした。私たちも一緒に文章を作ってみました。私たちも日頃、正しい敬語の使い方に悩んだりもしますが、日本語の授

業を受けている韓国の学生の方々は、一人ひとりが正しい敬語を場面により用いようと考えているところがすごく印象に残りました。

私は、祥明大学の短期研修に参加し、本当に良かったと感じています。これからは、海外の人々に日本の良さを伝えられるような人になれるよう、勉強していきたいと考えています。また、授業でも韓国語を受けているので、もっと勉強して行きたいと感じました。